

株式会社 dual-mode Black box

愛媛県松山市祝谷 6-1039-1
URL : <https://www.blackbox-g.jp/>



フォーカス・オン・ブラック 拘り貫くセレクトショップ



代表取締役 **渡邊 久恵**

渡邊社長はコロナ渦の中止まっているは何も生まれないと思い、2020年8月に『dual-mode』を設立。同社では主に日本文化の素材を生かした和モノの企画やデザイン、卸、通販、展示会などを行っている。加えて社長が同時に運営している『Black box』では洋服販売やコース料理の提供、陶器販売などを手掛けているのだ。衣食住の全てに拘り尽くし、見たことのない新しい空間を構築した社長に今日は俳優の大沢樹生氏がインタビューを行った。

まず最初に、渡邊社長の歩みをお聞かせ願えますか。

ずっと洋服が好きで、10代のころ今後10年以内に店を持つという目標を持ち始めたんです。願えば叶うと信じ、夢に向かい頑張った結果、こうして好きなことを仕事にすることができました。好きだから頑張れる。好きだから苦勞を苦勞と思わずやり抜けると、いつも思っています。ひたすら猪突猛進で頑張り続け、気がつけば独立30周年を迎えていました。

初志貫徹ですね。見たところ洋服以外にも、雑貨なども取り扱っていますね。どれも印象的なデザインです。

2020年、コロナ渦になり、私の仕事も世の中も低迷を迎えました。それを契機に、コロナ渦の中まだまだ頑張りたいたいと思い2020年8月に『dual-mode』を設立しました。主に和モノの企画やデザイン、卸、通販、展示会などを手掛けています。もともと日本の和の文化に対する造詣や拘りがあったことも当社設立の大きな要因です。私の拘りの例として、毎日の食事は器に盛り付け食事を五感で楽しんだり、時々自分で着付けをして楽しんだりしています。茶道ではお客様にお抹茶を点てて飲んでいただいたり、華道では毎日生花をショップに飾ったりしています。書道に関しては小さいころから習い続けていて、師範の資格を持っているんです。このスキルは作品づくりにもしっかり役立っていますよ。これからも日本文化を現代的にアレンジし、当社の作品を国内外にどんどん届けていきたいと思っています。

社長が運営されている『Black box』についても詳しく教えていただけますか。

ゲストインタビュー

大沢 樹生
(俳優)



「独立して30年のベテラン経営者である渡邊社長ですが、それを感じさせないほど若々しくエネルギーに満ちた人物だと思いました。『Black box』さんのレストランでは手料理を振る舞っているそうで、その多才さに唖るばかりでした。己の道を突き進む社長の今後が本当に楽しみです！」

こちらでは、ありとあらゆるサービスを提供しています。まず1つ目は、私がずっと好きだった洋服の販売です。モード系を中心として、メンズ・レディース共に充実のラインナップを取り揃えております。2つ目として、完全予約制のコース料理を提供させていただいています。昼の部、夜の部に分かれておりまして、1日1組様限定となっております。そして3つ目は、器などの陶器販売です。質の高い器というのは、毎日の食生活をとても豊かなものに変えてくれるんですよ。

では最後に、社長がお仕事の上で最も大切にされていることをお伺いします。

「人とのつながり」です。私の人生のテーマでもあります。当店の名刺には、『Black box-g』とこう記載がなっています。『g』とはGuest、つまり特別なお客様という意味を込めているんです。今回の対談も同じで、ここで大沢さんと会えたのも「人とのつながり」によるご縁ですよ。そして、私の生き方。仕事だと考えています。このスタンスを最後まで貫き通していきたいですね。